

第 63 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会
第 46 回全日本特別支援教育研究連盟東海北陸地区研究大会(福井大会)
第 70 回福井県特別支援教育研究大会



第63回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会

(第二次案内)

「変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち」
～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～

令和6年 11 月 21 日(木)・22 日(金)

第 63 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会を次の要項にて開催いたします。

2024 年(令和6年)は福井県にとって特別な年となっております。春には念願でありました北陸新幹線が敦賀駅まで延伸され、開業を迎えました。全国からお越しになられる皆様には福井県が少し身近になったのではないかと思います。11月の福井県は、山の幸海の幸ともおいしい季節です。その実り豊かな季節に、全国の特別支援教育に関わる皆様が福井県に参集し、「変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～」を大会主題として、日頃の教育活動の成果や今後の特別支援教育のあり方について議論できることを楽しみにしております。

令和6年7月吉日

全日本特別支援教育研究連盟理事長 名古屋 恒彦
第63回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会 実行委員長 藤枝 美由紀

主催

全日本特別支援教育研究連盟 東海北陸地区特別支援教育研究協議会
福井県特別支援教育研究連盟

後援(予定)

文部科学省 こども家庭庁 全国都道府県教育委員会連合会 全国国公立幼稚園・こども園長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会 全国特別支援学校長会
全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 全国特別支援学校知的障害教育校長会
全国特別支援教育推進連盟 公益社団法人日本発達障害連盟 日本発達障害学会
公益財団法人日本知的障害者福祉協会 全国手をつなぐ育成会連合会
福井県教育委員会 福井市教育委員会 永平寺町教育委員会 福井県幼児教育研究会
福井県小学校長会 福井県中学校長会 福井県高等学校長協会 福井県特別支援学校長会
福井県特別支援学級・通級指導教室設置学校長会 福井県小学校教育研究会
福井県中学校教育研究会 福井県高等学校教育研究会
東海北陸手をつなぐ育成会協議会 特定非営利活動法人福井県手をつなぐ育成会
公益財団法人日本教育公務員弘済会福井支部 公益社団法人福井県観光連盟

大会開催要項

1 大会主題

「変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち」
～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～

2 趣 旨

新しい時代の特別支援教育の在り方が示され、インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組が進展する中、日々、目の前にいる子どもたちの幸せと自立を願って特別支援教育を推進してきた。一方、昨今の子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、増加する児童生徒の多様なニーズに応じた教育、早期からの相談・切れ目のない支援の充実、合理的配慮の提供、ICT 機器の活用、教師の専門性の向上など、共生社会の実現に向けた特別支援教育に求められる課題は尽きない。

そこで、本大会では、大会主題を「変化する社会の中で 自分らしさを生かし 生き生きと輝く子どもたち～教育的ニーズに基づいた 一人一人の育ちを求めて～」とし、特別支援教育の在り方について全国各地の皆様と研究協議を深め、子どもたち一人一人が自分らしい人生を歩んでいくための特別支援教育の更なる発展・充実を目指している。

3 大会期日

令和6年11月21日(木)・22日(金)

4 会 場

第1日 全体会 フェニックスプラザ エルピス大ホール
理事・評議員研究協議会 フェニックスプラザ 会議室

第2日 学校見学会 小・中学校の特別支援学級 特別支援学校
分科会 フェニックスプラザ ハピリン(Happiring)
AOSSA(アオッサ) 織協ビル

5 参加者

全日本特別支援教育研究連盟構成団体会員

幼稚園・保育所(園)・こども園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学の教職員

特別支援教育研究者、関係団体の方、保護者、特別支援教育に関心のある方

6 日 程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	16:00	
第1日 11/21 (木)	受付	開会式 表彰式	研究報告	昼食	行政説明 基調報告	記念講演	閉会式	理事・評議員 研究協議会
第2日 11/22 (金)	8:30 受付	9:30 学校見学会 (原則県外参加者のみ)	12:00 昼食	13:00 分科会	16:00			

※2日目の受付時刻(シャトルバス発車時刻)は、見学される学校によって異なります。別紙の福井大会申込要項にてご確認ください。

7 記念講演 演題：「一人一人が自分を表現できる未来へ」
講師：書家／プレゼンテーションクリエイター 前田 謙利 氏



8 研究報告 福井県の特別支援教育の現状と課題
三木安正記念研究奨励賞受賞者：(未定)

9 全体会・分科会場

(1) 全体会場 フェニックス・プラザ1階 エルピス大ホール

〒910-0018 福井市田原町1丁目13番6号

TEL.0776-20-5060 FAX.0776-20-5060

Google Map>><http://www2.fctv.ne.jp/~phoenix/index.html>

*JR 福井駅西口から徒歩約20~30分程度(約1.8km)

*えちぜん鉄道 三国芦原線「田原町」駅下車 徒歩1分

*福井鉄道 福井鉄道下り田原町方面「田原町」駅下車 徒歩1分

*京福バス 福井駅前バス停①②番乗り場 (23・26・31・38)乗車 田原町下車

*コミュニティバス 西ロバスターミナル⑥北ルート「文京・田原町方面」乗車

「田原町駅」バス停下車



フェニックスプラザ

(2) 分科会場 ①フェニックス・プラザ (住所等は全体会に同じ)

②ハピリン(Happing)

〒910-0006 福井県福井市中央1丁目2番1号

TEL.0776-20-2080

Google Map>> <https://www.happing.com/>

*JR 福井駅西口より徒歩1分



ハピリン

③AOSSA(アオッサ)

〒910-0858 福井市手寄1丁目4番1号

TEL.0776-20-6101

Google Map>> <http://www.aossa.jp/> *JR 福井駅東口より徒歩1分



AOSSA

④福井県織協ビル

〒910-0005 福井県福井市大手3丁目7番1号

TEL.0776-22-1411(代表) FAX.0776-22-1412

Google Map>> <https://www.senkyobldg.or.jp/>

*JR 福井駅西口から徒歩7分



織協ビル

【駐車場について】

・全体会場・分科会場の駐車場には数に限りがございます。周辺の有料駐車場をご利用ください。また、県内からの参加者におかれましては、できるだけ「乗り合わせ」をしていただき、周辺の渋滞緩和へのご協力をお願いいたします。

・学校見学会に関しましては、JR 福井駅東口から、各学校へシャトルバスを運行いたします。

*シャトルバスの利用については、学校見学会に参加する皆様に、後日改めてお知らせいたします。

10 分科会


NO	分科会名	テーマ	討議の柱
1	つながりのある特別支援教育 (幼保小中高連携) 【分科会場：④】	就学前からつながりのある相談支援の充実	○園・小・中学校・高等学校との連携の在り方 ○園児・児童・生徒と保護者に寄り添った支援体制の在り方
2	特別支援教育コーディネーターの役割 【分科会場：④】	生き生きと輝く子どもたちを育むコーディネーターの役割	○地域・校内でのつながりを生かした支援体制の在り方 ○支援をつなげるための手立てや方法
3	交流及び共同学習 【分科会場：③】	共生社会に生きる力を育む交流および共同学習	○豊かな関わりを育み、双方に学びのある交流及び共同学習の在り方 ○ねらいを明確にし、組織的に行う交流及び共同学習の在り方
4	障がい者スポーツ・文化芸術活動 【分科会場：①】	スポーツ等を通して、子どもたちの生活が豊かになる取組	○スポーツや文化芸術活動を通じた人との関わりやつながり ○スポーツや文化芸術活動を楽しむ機会の創出
5	通級による指導 【分科会場：①】	一人一人のニーズに応じた効果的な指導と連携体制	○学校・家庭・関係機関等との連携の在り方 ○一人一人の実態とニーズに応じた効果的な指導
6	通常の学級における合理的配慮 【分科会場：①】	障がいや特性に応じた合理的配慮	○合理的な配慮を校内へ広げるための方法と課題 ○学習面・生活面における個々のより良い合理的配慮の追究
7	高等学校における特別支援教育 (高等学校) 【分科会場：③】	高等学校における特別支援教育の展開	○高等学校における通級による指導 ○自立を見据えた指導・支援
8	教科別の指導① (小学校、小学部段階) 【分科会場：②】	教科の良さや学ぶ楽しさを実感できる授業づくり	○語彙を増やし、表現を豊かにする効果的な指導の在り方 ○身についた力を子ども自身が実感できる場の設定の工夫
9	教科別の指導② (中学校、中・高等部段階) 【分科会場：④】	教科の良さや学ぶ楽しさを実感できる授業づくり	○教科学習において、自分らしく表現するための工夫 ○表現力を高めるための学習活動の在り方
10	キャリア教育 【分科会場：③】	自立と社会参加に向けたキャリア教育	○自己をみつめる振り返り活動について ○児童生徒の実態に応じたキャリア教育
11	自立活動 【分科会場：①】	一人一人に応じた自立活動の充実	○子どもの「やってみよう」を引き出す指導の在り方 ○一人一人に応じた自立活動の計画
12	各教科等を合わせた指導① (作業学習) 【分科会場：①】	自立と社会参加を目指す作業学習	○主体性「やりたい」「分かる」「できる」を引き出すための工夫 ○自立と社会参加につながる作業学習の取組
13	各教科等を合わせた指導② (日常生活の指導・生活単元学習) 【分科会場：①】	子どもたち一人一人が力を発揮し生き生きと輝く日常生活の指導・生活単元学習	○小から中へのつながりを意識した生活単元学習の在り方 ○児童・生徒の自立と社会参加を促す(目指した)指導の在り方
14	不登校傾向のある児童・生徒への支援 【分科会場：④】	不登校傾向のある児童・生徒の理解と支援	○自己実現に向けて、安心感がもてるような環境の工夫 ○不登校傾向のある児童・生徒との関係づくりの工夫
15	知的障がい教育におけるカリキュラム・マネジメント 【分科会場：④】	一人一人の学びが深まるカリキュラム・マネジメント	○一人一人の学びを深めるために、どう子どもの実態を捉え、何を大切に、どのように学びをつなげていくか。 ○どのように子どものカリキュラム・マネジメントを進めていくか。(教師の協働と情報共有の在り方)

- ・分科会場①:フェニックスプラザ
- ・分科会場②:ハピリン(Happing)
- ・分科会場③:AOSSA(アオッサ)
- ・分科会場④:福井県協ビル

11 分科会(提案発表者・助言指導者)

No.	提案発表者			指導助言者		
	所属	職名	名前	所属	職名	名前
1	愛知県小牧市立小牧中学校	教諭	齋木 一恵	星槎大学	副学長	西永 堅
	愛知県小牧市立小牧原小学校	教諭	服部 敬子	福井県福井市教育委員会	指導主事	鈴木 千鶴
	福井県永平寺町御陵小学校	教諭	山田 大智			
2	三重県亀山市立関小学校	教諭	河野 達也	東京都町田市立鶴川第一小学校	校長	小林 繁
	福井県越前町立織田小学校	教諭	芝 和俊	福井県特別支援教育センター	指導主事	齋藤 千晶
	福井県鯖江市鯖江東小学校	教諭	中嶋 勇貴			
3	青森県八戸市立町畑小学校	教諭	和泉 範子	東京都江東区立豊洲北小学校	統括校長	喜多 好一
	福井県坂井市立大関小学校	教諭	村上 誉音子	福井県あわら市教育委員会	特別支援教育指導員	森川 美恵子
4	香川県立香川東部支援学校	教諭	宮本 覚	順天堂大学	教授	渡邊 貴裕
	福井県立福井特別支援学校	教諭	三上 信雄	札幌学院大学 人文学部	教授	井上 明浩
5	岐阜県岐阜市立徹明さくら小学校	教諭	長谷川 はな子	全日本特別支援教育研究連盟	研究部長	山中 とむえ
	福井県越前市花筐小学校	教諭	山本 一美	福井県特別支援教育センター	指導主事	藤井 轄行
6	佐賀県伊万里市立二里小学校	教諭	河上 美穂	東京都大田区立調布大塚小学校	校長	玉野 麻衣
	福井県あわら市立金津東小学校	教諭	坪田 麻衣子	福井県坂井市教育委員会	特別支援教育指導員	西尾 文昭
7	埼玉県立八潮南高等学校	教諭	鈴木 久就	東京都立中野特別支援学校	校長	和田 慎也
	福井県立武生高等学校定時制	教諭	山下 久美子	福井県立大学学術教養センター	教授	清水 聡
	同上	教諭	小林 就彰			
8	富山県高岡市立野村小学校	教諭	脊 里絵	広島都市学園大学	教授	竹林地 毅
	富山県高岡市立下関小学校	教諭	朝野 康子	子ども教育学部		
	福井県若狭町立熊川小学校	教諭	千田 勝	福井県嶺南教育事務所 特別支援教育課	課長	吉田 聖子
9	京都府京都市立西賀茂中学校	教諭	竹中 由佳	金沢星稜大学	講師	柳川 公三子
	京都府京都市立東総合支援学校	教諭	千葉 祐嗣	福井県立嶺北特別支援学校	教頭	石田 由紀子
	福井県福井市明道中学校	教諭	松浦 未奈			
10	静岡県浜松市立光明小学校	教諭	井野口 真寿美	弘前大学大学院	教授	菊地 一文
	静岡県浜松市立光明小学校	教諭	松下 美沙枝	福井県嶺南教育事務所	指導主事	宮崎 真規子
	福井県敦賀市立角鹿中学校	教諭	加藤 秀明	特別支援教育課		
11	愛知県名古屋市長植田小学校	教諭	磯部 航太	明星大学教育学部	常勤教授	明官 茂
	福井県大野市富田小学校	教諭	谷口 真弥子	福井県教育庁高校教育課	主任	新屋 智之
12	石川県立明和特別支援学校	教諭	端田 研太	明治学院大学社会学部	准教授	高倉 誠一
	福井県越前市南越中学校	教諭	山田 和弘	越前市教育委員会教育振興課	参事	西田 千鶴
13	静岡県牧之原市立相良小学校	教諭	神崎 いづみ	植草学園大学	准教授	高瀬 浩司
	福井県越前町立糸生小学校	教諭	清水 里枝	福井県立南越特別支援学校	校長	源甲斐 恵美
14	福井県鯖江市中央中学校	教諭	漆崎 剛雄			
	山梨県高等支援学校桃花台学園	教諭	伏見 真由美	東京都足立区立足立小学校	校長	加藤 憲司
15	福井県立福井東特別支援学校	教諭	山田 聖人	福井大学 教育・人文社会系部門	教授	廣澤 愛子
	奈良県宇陀市立榛原東小学校	教諭	谷岡 美保	国立特別支援教育総合研究所	情報・支援部 上席総括研究員	丹野 哲也
	福井大学教育学部 附属特別支援学校	教諭	岩佐 成樹	福井大学 連合教職開発研究科	准教授	笹原 未来

12 学校見学会（原則県外参加の方のみ）

コース名	学校名	住所
Aコース	福井市中藤 <small>なかふじ</small> 小学校	〒910-0837 福井市高柳3丁目3001
<p>明治44年、2つの小学校が統合し、中藤尋常高等小学校と改称してから113年、住宅及び人口増による児童増加に伴い現在地に新築移転してから12年目を迎える。広々とした教室や廊下、学年ごとにオープンスペースを有する等、児童にとってゆとりある環境が整う、「学びの場」を意識した学校である。</p>		 中藤小学校
<p>※シャトルバスで20分</p>		
Bコース	福井市至民 <small>しみん</small> 中学校	〒918-8032 福井市南江守町65-12-1
<p>昭和22年に創立。平成20年に現在地に移転開校。教材センター方式の校舎はアリーナ(体育館)だけが直線の建物であり、他の部分は「葉っぱ」の形の中庭やホールを囲むように配置されている。4つの「異学年クラスター」で様々な行事に取り組むのも特色の一つである。</p>		 至民中学校
<p>※シャトルバスで20分</p>		
Cコース	坂井市立春江 <small>はるえにし</small> 西小学校	〒919-0474 坂井市春江町西太郎丸3-3
<p>福井県北部に位置し、周辺は県随一の穀倉地帯である坂井平野が広がっている。福井市のベッドタウンとして人口も多く、児童数298名の中規模校である。地域連携を重視し、田植え体験や町探検等の活動を展開。特別支援学級3学級14名。</p>		 春江西小学校
<p>※シャトルバスで30分</p>		
Dコース	鯖江市立待 <small>たちまち</small> 小学校	〒916-0005 鯖江市杉本町1-5
<p>明治5年創立、開校152年目を迎える。人形浄瑠璃作家「近松門左衛門」ゆかりの歴史遺産が数多く残る地域にあり、特別支援学級3学級を設置した全21学級の市立小学校である。</p>		 立待小学校
<p>※シャトルバスで30分</p>		
Eコース	福井県立嶺北 <small>れいほく</small> 特別支援学校	〒910-0347 坂井市丸岡町熊堂3-36
<p>県内最大人数の知的障がいの特別支援学校。「なかよく たくましく ねばり強く」を校訓に、心身の調和のとれた自立できる子どもの育成を目指している。</p>		 嶺北特別支援学校
<p>※シャトルバスで25分</p>		
Fコース	福井県立福井南特別支援学校	〒918-8034 福井市南居町82
<p>今年度で開校51年目を迎える。知的障がいを持つ児童生徒が地域社会で豊かに生活することを目指し、ICTなども積極的に取り入れながら、「個別の教育支援計画」に基づく支援を行っている。</p>		 福井南特別支援学校
<p>※シャトルバスで25分</p>		
Gコース	福井県立南越 <small>なんえつ</small> 特別支援学校	〒915-0024 越前市上大坪町35-1-1
<p>南越地区唯一の知的障がい、肢体不自由、病弱を対象とした総合特別支援学校。地域とのつながりを大事にしながら、今年度、創立20周年を迎えた。</p>		 南越特別支援学校
<p>※シャトルバスで40分</p>		
Hコース	福井県立奥越 <small>おくえつ</small> 特別支援学校	〒911-0802 勝山市昭和町3丁目1-69
<p>平成25年に開校し、本年度創立12年目を迎える。知的障がい、肢体不自由、病弱の幼児児童生徒が学ぶ、総合的な特別支援学校である。市街地という立地条件を活かし、「地域が教室」をコンセプトに地域に開かれた教育活動を展開している。</p>		 奥越特別支援学校
<p>※シャトルバスで50分</p>		

福井大会参加申込みのご案内

※参加申込みの詳細については、別紙「参加・宿泊申込要項」をご覧ください

1 諸経費について

- 大会参加・資料費 4,500円(通信費含む)
- 大会集録費 2,000円(通信費含む)

*大会参加・資料費・大会集録費の支払い期間終了日(11月8日金曜日)後の取消につきましては、ご返金はできかねますのでご了承ください。

2 大会参加申込みについて

(1) 大会参加申込み期間

令和6年7月8日(月)午前10時 ~ 令和6年8月27日(火)午後6時

(2) 大会申込み方法

- ・インターネットによるオンライン申込みとします。お電話での申込み・変更・取消はいたしません。
- ・次の URL から、予約サイトにアクセスし、案内に従って申込みの手続きを行ってください。

大会専用申込みホームページ https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/63shien_fukui/

- ・全日本特別支援教育研究連盟のホームページからも「予約サイト」をご覧ください。

(3) 学校見学会・分科会の参加希望について

- ・学校見学会(原則県外参加の方のみ)のコースは第3希望、分科会は第5希望まで選択してください。
- ・学校見学会の各コースには、福井駅東口からシャトルバスで移動していただきます。駐車場がありませんので、各学校への自家用車でのご移動はお控えください。
- ・申込みの状況や分科会場の定員を基に、大会事務局で調整させていただきます。
- ・学校見学会のコース、分科会が決定しましたら、登録されたメールに10月7日(月)にお知らせします。

(4) 参加費用等の支払いについて

- ・「大会予約専用サイト」に記載されている方法でお支払いください。

支払い期間:令和6年10月8日(火)~11月8日(金)

- ・振り込み手数料等は、各自でご負担ください。

(5) 備考

- ・参加者の集約や名簿作成の都合上、期限厳守にてお願いします。
- ・大会参加・資料費、宿泊費などの「請求書」「領収書」は「大会予約専用サイト」から印刷してください。
- ・各自で名札(都道府県名または政令都市名・所属・役職・氏名の書かれたもの)を用意してご持参ください。
- ・全体会、分科会の受付に必要な利用券、弁当引き換え券を、各自で印刷し、当日、ご持参ください。
- ・大会当日の参加申込みはできませんので、必ず事前にお申し込みください。
- ・インターネットで申込みができない場合は、大会事務局又は東武トップツアーズ福井支店担当までご連絡ください。

【福井大会シンボルマークについて】



今大会でご講演いただく、福井県出身の書家/プレゼンテーションクリエイターの前田 鎌利氏に、大会テーマのもと、生き生きと「輝く」様々な子どもたちを表現したロゴマークデザイン(6種類)と書作品をご提供いただきました。



申込み問い合わせ先

東武トップツアーズ株式会社 福井支店

「第63回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会 係」 担当:柴山 祐二

〒910-0023 福井県福井市順化1丁目2番1号 福井テラス7階

TEL 050-9001-9684 FAX 0776-25-0414

E-mail 63shien_fukui@tobutoptours.co.jp

営業時間:平日 9:30~17:30(土・日・祝日、及び年末年始休業)

大会事務局

〒918-8055 福井県福井市下荒井町13-240 福井市清明小学校

TEL:0776-35-2821 FAX:0776-35-2719

E-mail s-tsu681@fukui-city.ed.jp

大会実行委員長 福井県鯖江市惜陰小学校 校長 藤枝 美由紀

大会事務局長 福井県福井市清明小学校 校長 坪川 修一郎

大会事務局次長 福井県福井市社北小学校 教諭 奥谷 裕美